

# 下町河川 Tomorrow

東京都の江東内部河川流域連絡会の情報紙（会議録）

平成 18 年 1 月 20 日（金）

## 第 21 回（第 4 期第 3 回）江東内部河川流域連絡会を開催



旧中川の水辺で遊ぶ子供たち

（写真は前都民委員より）  
旧中川に集う水鳥



会議の様子

- ・「第 21 回（第 4 期第 3 回）江東内部河川流域連絡会」を、午後 2 時から約 2 時間半で江戸川区小松川さくらホール 2 階集会室 1 において会議を実施しました。
- ・都民委員 12 名と行政委員 9 名等が参加しました。名簿は 6 ページ
- ・主に、江東内部河川の水質（水質測定結果、合流式下水道の改善対策等）や「東京の水辺空間の魅力向上に関する全体構想」などについて、意見交換しました。

## 江東内部河川の水質について

### < 江東内部河川の流れの現状 >

大横川、小名木川（西側）などの西側河川は、干潮河川であり、隅田川及び港湾区域から河川水の流入、流出が潮位変化により行われ、満潮時に遡上し、干潮時に降下する流れが発生します。

旧中川、小名木川（東側）などの水位低下した東側河川は、外水から締め切られた水域の水質を維持するため、西側河川から北十間川樋門、扇橋閘門、江東区内の親水公園を通過して水が流入し木下川排水機場のポンプで荒川へ排水する緩やかな流れがあります。また昨年 10 月に完成した荒川ロックゲートから船の通航による操作により荒川の水も流入しています。

### < 江東内部河川の水質測定結果 >

平成 15 年度の調査結果について、BODの値は 14 年度に比べてやや良くなっていますが、窒素、リンの値は全体にやや悪くなっています。

BODの昭和 46 年度からの経年変化は、維持用水として導入している隅田川の水質改善とともに徐々に水質は良くなり、近年（平成 11～16 年度）は横ばいの傾向にあります。

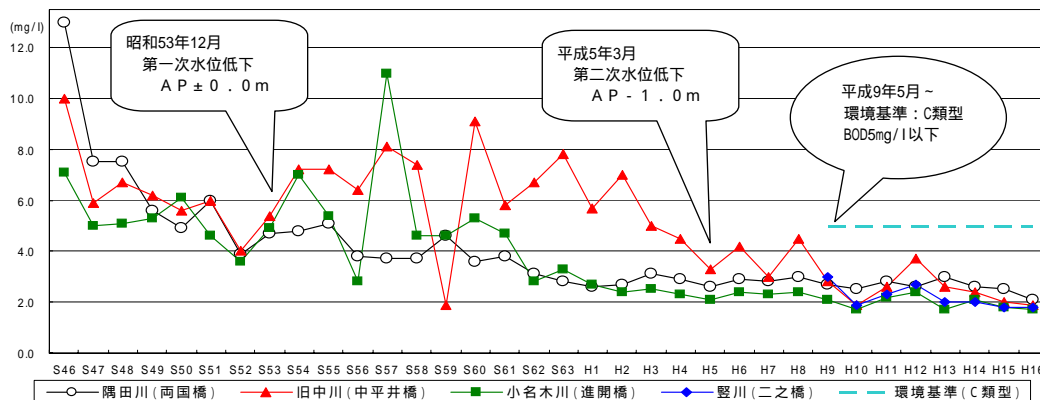


図 - 1 水質 (BOD) の経年変化 (出典: 東京都環境局)

- 注 1) BOD (生物化学的酸素要求量): 水中の汚濁物質の量について、それが微生物によって酸化分解される際に必要とされる酸素量をもって表したものです。数値が大きくなるほど河川の汚濁が進んでいることを表します。
- 注 2) 環境基準: 人の健康を保護し、生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準として定められたものです。江東内部河川については平成 9 年 5 月に C 類型として定められました。



水質測定地点地点図

## 横十間川の底質のダイオキシン類の対策

高濃度に汚染された天神橋の南側 60m の区間のうち、15mについては平成 16 年度に国土交通省が固化処理を完了させ、残りの 45mについては東京都が平成 18 年 3 月までに固化処理と仮締切撤去等の工事を完了させる予定です。

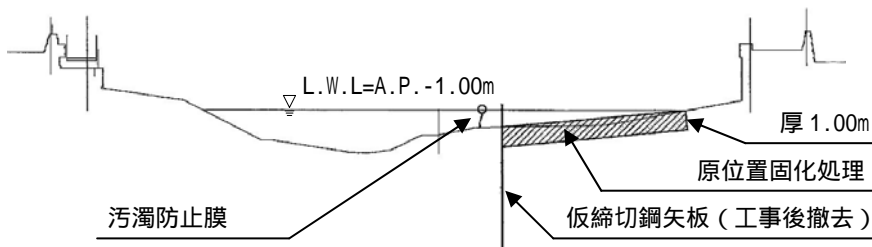


図 - 2 横十間川の横断面図



固化処理状況

## 合流式下水道の改善対策

東京都区部の下水道は、浸水被害や生活排水による水質の悪化を早期に解消するため、汚水と雨水を同一の下水管に収容する合流式下水道で約 8 割が整備されています。この方式は、少量の雨の時は全量を処理場に送水し処理しますが、大雨の時は浸水を防ぐため雨水を河川等へ放流します。この時、雨水で薄められた汚水の一部も流出します。これにより降雨後、河川等にゴミなどが浮き、水辺環境悪化の一因となっています。

このため、処理場に送水する下水管の整備と降雨初期の特に汚れた下水を貯留する施設の整備を進めています。しかし、これらの整備には多くの費用と時間が必要なことから、即効性があり効果が早期発現できる「合流改善クイックプラン」を推進しています。

平成 16 年 9 月には、「新・合流改善クイックプラン」を策定し、この中で江東内部河川の流域をモデル地区として水質改善効果が見える事業を重点的に実施しています。

### <合流改善クイックプランの取組>

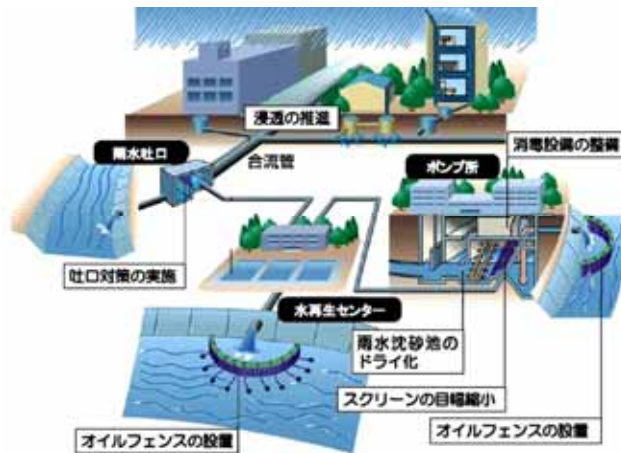
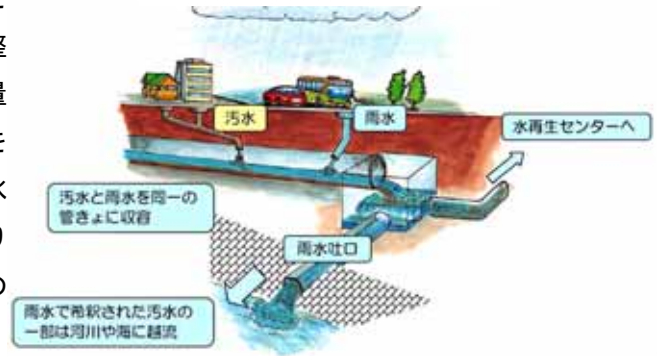


図 - 3 合流式下水道の改善対策（出典：東京都下水道局）

### <合流式下水道のしくみ>



### <江東内部河川流域の下水道>



## 都民委員からの提案（浚渫の必要性）

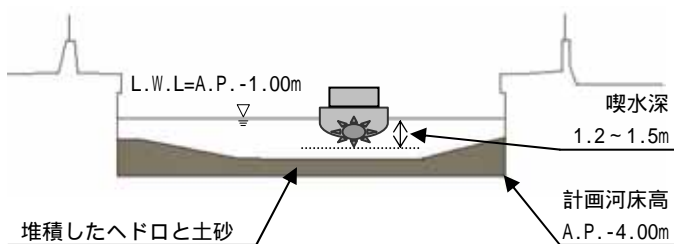


図 - 4 小名木川未整備区間の断面図

荒川ロックゲートができて、小名木川を中心に動力船の通航が増えるものと予想されます。その際、動力船のスクリューが川底に堆積したヘドロを巻き上げて、悪臭と濁りが発生してしまうので、動力船の通航制限やヘドロのしゅんせつなどの必要があります。

## 東京の水辺空間の魅力向上に関する全体構想

都の関係部局で検討会を開いて、一般都民の意見や提案をいただくためまとめた「中間のまとめ」が平成 17 年 11 月に発表されました。

江戸以来の歴史的観光資源や先端技術の集積などがある「隅田川」「神田川下流・日本橋川」「江東内部河川」「運河地域」「臨海地域」の 5 つのエリアを対象としています。

### 将来像と取組の方向



図 - 5 東京の水辺のめざすべき将来像と取組の方向


江東内部河川における地域特性を踏まえた今後の取り組みは下記（図 - 6）の通りです。

### 江東内部河川地域


**< 将来像 >** 水との触れ合いが楽しめる水上レクリエーション地区

**< 取組の方向 >**

- 小名木川などを、かつての塩の道にふさわしい江戸情緒の感じられる水辺の道として整備
  - ・小名木川護岸を石積み風に整備
  - ・扇橋閘門を観光資源として活用
- 小名木川や大横川などにおける、地域イベントに合わせた観光資源を結ぶ舟運活用の促進
- 青少年教育の効果も期待できる、レガッタ、カヌー、カヤックなど手漕ぎボートにより水と親しめる環境を整備
  - ・ボートの乗降のための施設の設置を誘導
  - ・防災船着場の活用



《船が通過する扇橋閘門》



《水上レクリエーションの様子》

図 - 6 江東内部河川地域の将来像と取組の方向

## 水質・全体構想についての意見交換

東大島駅の周辺に、大雨が降るとかなり水のたまる場所がある。下水道の計画では、具体的に何年ぐらいで解決されるのか。また、小名木川を護岸工事できれいにするのは良いが、船の通航で悪臭がすると苦情が出てくると思うので、ヘドロ対策も実施してほしい。

この周辺は、再開発に併せて下水道を新しく作っていますが、雨水桝が詰まるなどして水のたまることが考えられます。すぐに調査します。

小名木川は全体構想の中で注目されていますが、ヘドロまでは意識していないと思います。しかし、小名木川を整備していく中で、ヘドロ対策などについても皆様からご意見をいただければと思います。

江東内部河川は普通の生活と船、川が断絶している現状で、観光に徹するのか、経済的な役割の舟運を進めるのか、極論すれば埋めてしまうのか等を検討すべきではないかと思う。川のあり方というものの考え方が行政と市民とでぜんぜん違うと思う。川のあり方を見直して、川とはどうあるべきかを論じないと、川のありがたみはわからないと思う。

また、江東内部河川はもう河川下水管であり、流域の人口と河川のバランスが崩れているので、下水を現在の大規模集中型でなく小規模分散型で処理すべきと思う。

江東内部河川のような都市部の河川とどのように付き合い、整備するといったのを検討していくのが、この江東内部河川流域連絡会の課題だと思います。

雨水は絶対再利用すべきと思う。ドイツでは、雨水を自分の敷地内で処理すると下水道料金が安くなり、雨水の再利用に効果があったと聞いた。また、雨水を川の水の浄化に使えるれば、川も少しはきれいになるのではと思った。

ドイツでは下水道が雨水に対する料金もとっていて、各家庭での雨水の再利用又は浸透により雨水の料金がかからないような制度があると聞いています。

水辺の環境づくりにおいては、景色・景観としての眺める「水」だけでなく、触れる・体感できる「水」も大切と思う。そういうことに対しての具体的な方策が今回の全体構想には見えていない。また、水質改善や環境整備においては、もう少し民間の力を活用しないと発展しないのではないか。

東京都では、民間開発に併せてスーパー堤防をつくる等、民間の活力を利用しています。また、河川の規制緩和により河川敷で開かれ易くなるオープンカフェやイベント等を河川事業として支援していく方向で進めていきたいと考えています。

私どもの会では、船旅を楽しむためリバーガイドという人材を養成していこうと考えている。また、江東内部河川で船に乗った際、潮位の関係で橋桁が非常に低く感じられた。さらに、いろいろな場所で船から乗降できるようにしてほしい。

30年位前の旧中川などは人が近寄らない場所だったが、整備されてここまで変わった。引き続き江東内部河川の整備を進め、特にボート乗降場所なども含めて全体の詳細を詰めた話をしたい。

小名木川を石積み風に護岸整備するのに併せて船着場をつくり、和船の櫓漕ぎの訓練ができるようにしてほしい。

人と川のつながりがなくなったため、誰も浸水などへ備えていない。住民自身が水害に備えるため船を持つ、一階部分を居住空間にしない等の覚悟が必要なのではないかと思う。

## その他

江東区から「(仮称)小名木川歩行者・自転車専用橋」、墨田区と江戸川区から「旧中川の桜の植樹」、江戸川区から「健康の道サイン及び手洗所サインの設置」などが報告されました。

## 流域連絡会の今後の予定

次回の流域連絡会は、3月下旬頃を予定しています。

### 江東内部河川流域連絡会・委員名簿

平成 18 年 1 月 20 日現在  
敬称略 都民委員は区別・50 音順

		住 所 ・ 団 体 名	氏 名	
都民委員	個人	墨田区	阿久沢 八代	
		墨田区	石井 貞光	
		墨田区	清道 洋一	
		墨田区	田中 兼勝	
		江東区	菊地 進一	
		江東区	氷見 修三	
		江東区	山広 勲	
		江戸川区	芦田 正次	
		江戸川区(勤務地)	堀内 仁之	
		江戸川区	山内 久二	
	団体	江東区の水辺に親しむ会	須永 俣子	
		江東区和船友の会	松島 信治郎	
		旧中川灯籠流し実行委員会	江頭 正恭	
		小松川平井地区連合町会	谷川 貞夫	
		江戸川区ボート協会	渡辺 秀郎	
			所 属 ・ 職 名	氏 名
	行政委員	墨田区都市計画部都市整備担当都市整備課長		小山 季廣
		江東区土木部水辺と緑の課長		荒川 順二
		江戸川区土木部計画課長		高井 聖
東京都環境局自然環境部水環境課長		芳賀 道子		
東京都下水道局建設部土木設計課長		中島 義成		
東京都下水道局東部第一管理事務所ポンプ施設課長		森田 茂		
東京都建設局河川部副参事(河川管理制度担当)		熊本 敬治		
東京都建設局河川部副参事(総合治水・低地河川防災計画担当)		新谷 景一		
東京都建設局第五建設事務所管理課長		大野 正實		
東京都建設局江東治水事務所内部河川工事課長		伊藤 政行		
東京都建設局江東治水事務所水門管理課長		大塚 好夫		

座長

**連絡先**：江東内部河川流域連絡会事務局（東京都江東治水事務所内部河川工事課内）

**担当**：小菅、田村

**TEL**：03-3692-4945 (直通) **FAX** 03-3696-6499

**Email-address**：S0200225@section.metro.tokyo.jp